

一番寒い季節になりましたが、会員の皆さまにはお元気でお過ごしのことと思います。今年のインフルエンザは、重症化する可能性があることが報じられています。ノロウイルス対策にもなりますので、手洗いとうがいを徹底しましょう。

#星っさんコーナー(その96)

「オペラ大好き」

顧問 星島明郎

1月12日(日)に岡山シンフォニーホールで「中国二期会創立40周年記念オペラ・ガラ・ニューイヤーコンサート」を聴きました。今回は、オペラと言っても演奏会形式(舞台装置などの演劇の演出をしないで、舞台の中央にオーケストラがのり、その前でソリストが歌を歌う形式)でした。曲目はモーツァルトの「魔笛」、ビゼーの「カルメン」、プッチーニの「ボエーム」ほか親しみのある有名な曲ばかりで、オーケストラは岡山フィル、出演した19人のソリストは岡山を中心に活動している顔なじみの方々ばかりだったこともあり、最後まで楽しく聴かせて頂きました。オペラには合唱とバレエはつきものですが、合唱団は地元の岡山市民合唱団「鷺羽」、バレエは岡山県バレエ連盟の中・高校生たちでした。歌手達も衣装を工夫し、演技も少しつけて、楽しいものになっていました。しかし私の本音は、やはり本格的なグランド・オペラにして頂きたい思いでした。実は私のオペラ好きも、今をさかのぼる60年前の学生時代から始まりました。私の在籍した岡山大学では、毎年定期演奏会が開かれていますが、私の在学時代の4年間はこの演奏会がすべてオペラでした。当時の主任教授であった水野康孝先生(声楽家)の発案で、総合芸術であるオペラでもって学生たちに音楽教育を施そうと試みられたのです。1年目が「椿姫」、2年目が「カルメン」、3年目が「魔弾の射手」、4年目が2度目の「椿姫」でした。最初の2年間は演奏会形式でしたが、3年生と4年生の時はすべて衣装を着け、演技をつけ、バレエも入れるという本格的な演出でした。ソリスト、合唱、オーケストラは勿論のこと、大道具・小道具の製作、音響、照明、演出に至るまで全て学生の手で行いました。その陰には、音楽教室以外の美術部(背景など)、演劇部(演技の指導)など多くの友人達の献身的な協力もありました。学部を越えて全学的な活動となったのです。今から思うと未熟な面も多かったと思いますが、当時としてはそれなりに成果を上げ、オペラを上演する喜びを十二分に味わわせて頂きました。何しろ1年かけて1つのオペラに集中するわけですから、オーケストラ担当(フルートで出演)の私でさえ、脇役までの歌やセリフを全て覚えてしまいました(笑)。しかし翌年から、オペラ上演は学生にとってあまりに負担が大きすぎるというので取りやめになったと聞きました。

その後入団した関西交響楽団や大阪フィル時代には、東京二期会や関西歌劇団の公演をオーケストラ・ピットの中で吹かせて頂き、益々オペラ好きになりました。また、本場のオペラ見たさに度々ヨーロッパにも飛びました。ウィーン国立歌劇場・ミュンヘン国立歌劇場・ザルツブルグ祝祭歌劇場などオペラにまつわる思い出は尽きませんが、中でも最も強烈な感銘を受けたのは何と云っても、ワーグナーの聖地バイロイトの祝祭劇場で見たホルストシュタイン指揮の「タンホイザー」です。さすがオペラを真の総合芸術たらしめたワーグナーが、自分の楽劇を上演するために自ら設計し建築した理想の劇場だけあって、幻想的で迫力ある舞台と素晴らしい音響にわれを忘れ、興奮のあまり、その夜は一睡もできなかったのを昨日のように思い出します。

ところでこの度、岡山市民会館(1700席)と岡山市立市民文化ホール(800席)の移転の話が持ち上がっているのをご存知でしょうか。特に1700席規模の市民会館の方は是非、オペラやバレエの公演可能なホールにして頂きたいものです。そのための広いステージと演出に十分な舞台裏や練習場を持ち、楽器や舞台装置の搬入もしやすく、大勢の出演者やバス・トラックの乗り入れも可能な駐車スペースがあることも、これからのホールとしては必要条件です。また、公のホールとなると「多目的ホール」的な要素が入って音響の面がおろそかになりがちですが、この点だけは特に専門家による十分な配慮がほしいものです。音楽文化施設は格調高い都市の象徴です。皆さん機会あるごとに、市民がそのような希望を持っていることを、声を大にして話して頂きたいと切にお願い致します。

#演奏会情報

♪アンサンブル早島 第14回定期演奏会
日時:2月9日(日)16:00開演(15:00開場)
場所:倉敷市芸文館ホール
入場料:一般/1,000円 高校生以下/500円
出演:堺 由美(F1)
曲目:交響曲第8番/ドヴォルザーク 他

♪アマービレコンチェルト 10° ~10回目のプロポーズ 音楽に愛をこめて~

日時:2月16日(日)14:30開演(14:00開場)
場所:ルネスホール(岡山市北区内山下1-6-20)
入場料(前売):一般/2,000円 (当日):一般/2,500円 中学生以下/1,500円
出演:堺 由美(F1)
曲目:フルート四重奏曲 G-dur/モーツァルト, ヴァイオリン協奏曲より/チャイコフスキー, オペラ「フィガロの結婚」より「もう飛ぶまいぞこの蝶々」, 「椿姫」より「パリを離れて」他
お問合せ:090-3746-7953(堺さん)

オペラ曲を6人の声楽の方々が歌い、その伴奏をカルテットで演奏します。10回目の記念の演奏会となります。どうぞよろしくお願ひいたします。

#演奏会情報&チラシの会報への同封について

演奏会情報は2月28日(金)までに三尾さん(会報係チーフ)に連絡してください。また、演奏会のチラシを会報封筒に同封・郵送(原則として奇数月のみ)を希望される場合は、A4版はそのまま(A3版は二つ折りにして)長谷川楽器店に持参してください。その際、必ず事前に会報係チーフに連絡し、会報発送数を確認してください。

会報係チーフ連絡先:naokomiof1@yahoo.co.jp(三尾さん)

#チラシをホームページに掲載する方法について

演奏会のチラシを岡山フルートの会のホームページに掲載してほしい会員は、チラシを折らないでホームページ係チーフ(柴田さん)に郵送してください。なお、チラシをPDF化できる会員につきましては、以下のアドレスにファイルを添付してお送りください。

ホームページ掲載用チラシ送付先:柴田 聡さん

〒703-8282 岡山市中区平井1126-52 okayama-flute@mail.goo.ne.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

3月号の会報の封筒詰めを、3月4日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。会員の皆さまには、ぜひ、封筒詰めのお手伝いをお願いします。

